



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和5年10月30日
文責：校長 江上 知男



朝の横断歩道

「判断」できる子を育成する！

朝、横断歩道の端に立って、子どもたちの横断の様子を観ています。感心していることがあります。「信号の変わり目での班長さんや副班長さんたちの判断」です。メンバーを安全に導くために、「横断中に信号が変わろうとすると、班長さんが皆を急がせる」「渡り始めていない人がいるときに、最後尾の副班長さんが渡らない判断をする」「途中で変わるだろうと予測して、青でも渡らない」等々、大人でも難しい判断を子どもたちがきちんと

しています。まさに「気づき、考え、行動する子どもたち」が育っています。

ところで、人は自分の行動をどうやって決めているのでしょうか。私なりに、次のように「パターン化」してみました。

このうち、④は「なぜきまりがあるのか」ということを考えて行動できるレベルです。きまりがなくても、自分で善悪や相手意識を働かせて判断ができます。本校が目指すところだと考えています。

- ① 「やりたい・やりたくない」で決める。
- ② 「人がしている・していない」「ほめられる・おこられる」で決める。
- ③ 「きまりがある・きまりがない」で決める。
- ④ 「やるべきか・やるべきではないか」を自分で考えて決める。

しかしながら…、私自身もついつい物事を①～③の理由で決めてしまいがちです。子どもたちの姿に学ぶとともに、「判断力を高めていく必要性」を子どもたちに理解させ、学校生活や家庭生活の中で「成功体験を増やしていくこと」が、学校や家庭の責任ではないかと考えています。

4年生が「みそづくり」体験！

10月23日の週に、地域の榊原さん・木村さん・鍋田さん・田端さんや保護者に教えていただき、4年生が「みそづくり」を体験しました。大豆を洗うところから始め、麴や塩と混ぜて完成させるまで、本格的な体験となりました。

体験活動は、子どもたちの育ちのために重要だと考えています。子どもたちは体験を通して、感動したり、驚いたりしながら、「なぜ、どうして」と興味を持ち、考えを深めていき



話を聞く！

ます。そして、そこで得た知識や考え方を、実生活の様々な事象に当てはめることで、「自分で生きていく力」が高まると思うからです。地域・保護者の皆さまの協力に、心から感謝します。

学習発表会が始まりました！

10月27日(金)に5年学習発表会が実施され、保護者の方々にも来校いただきました。水俣で学んだ「公害」について、プレゼンソフトを使って発表しました。どの班も、自分たちの言葉でしっかり表現していました。自ら情報を集めて、考え、人に伝わるように工夫するといった「情報活用能力」の大切さを実感しています。



練習の様子

今後、2学期末にかけて各学年ごとに発表会が実施されます。応援よろしくお願いいたします。